

こくりにゆうだよ



大阪府立桜塚高等学校 2年 福内 花佳「手乗りスライム」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



世界とつながる交流カフェ ～チェコ編～

3月20日(木/祝) 14:00～16:00

チェコ出身のヘリナさんが出店者となり、チェコにつながる飲み物とお菓子を販売します。またヘリナさんのフルートによる演奏も行います。魅力あふれるチェコの文化に触れてみませんか？

参加費：飲み物1杯200円・お菓子100円

場 所：庄内コラボセンター 1階カフェスペース
(豊中市庄内幸町4丁目29-1)

※3/4～4/8まで庄内図書館にてチェコの展示も開催予定！

外国人のための お弁当作り体験

3月25日(火) 10:00～13:00

こどものお弁当に、何を作ったらいいか困っていませんか？一緒にお弁当を作りましょう。通訳はありませんが、やさしい日本語で話します。

対 象：外国人

定 員：15名(要申込・先着順)

※締め切り 3月21日(金)まで

持ち物：お弁当箱(子ども用の小さいもの)

エプロン

参加費：500円



【報告】1/11 (土) 「おまつり地球一周クラブ～インドネシア編」

1月11日(土)、子ども向け国際理解プログラム「おまつり地球一周クラブ～インドネシア編～」を開催しました。当日はインドネシア出身の講師アユさんにお越しいただき、インドネシアの観光地や料理について楽しくお話しいただきました。

インドネシアのじゃんけんをみんなで体験したのですが、インドネシアと日本では少しやりかたが異なり(グー・チョキ・パーではなく象・人・蟻)、アユさんが子どもたちにルールを教えると、みんな楽しそうに真似をして一緒に遊びました。また、伝統的なろうけつ染め布「バティック(Batik)」の模様の紹介があり、子どもたちも模様を紙に描いて色付けをする体験をしました。

最後にはアユさんからインドネシア語のあいさつを教えていただき、全員で「テリマカシ(ありがとう)」と言い合いながら締めくくりました。子どもたちからは「インドネシアにはこんな面白い文化があるんだ」と感想が寄せられ、異文化への興味を深める機会となりました。(インターン生・Shan Yan)



色付け体験



講師のアユさん

【報告】1/25 (土) 外国人のための1日相談会 in 庄内を開催しました。

1月25日(土)13時～16時に、「外国人のための1日相談会」を庄内コラボセンターにて(公財)大阪府国際交流財団、大阪弁護士会、豊中しごと・くらしセンターと協力して開催しました。当日は在留資格、求職、労働、子どもの教育や育児、ほか様々な相談が27件寄せられ、弁護士、センターの相談員と多言語スタッフで対応しました。今回は無料カフェコーナーを設置したので、カフェのみの利用で来られた方が多言語スタッフとおしゃべりをして、その流れで弁護士相談につながることができたケースもありました。今後も、気軽に利用してもらえるような相談会を市内の様々な地域で実施していきたいと考えています。(協会職員・山本愛)



仕事相談のようす

【報告】2/2 (土) ATOMS ふりかえり会(事業評価会)を開催しました!

とよなか国際交流センターを主な拠点に実施する32の事業の今年度の取り組みについて、協会事業のふりかえりの4つの視点※に基づいてボランティアや関係者と共にふりかえり、共有する「ATOMSふりかえり会」を2月1日(土)に開催し、42人が参集しました。今回も昨年同様グループワーク形式で「運営での工夫」「活動して良かったこと」「将来的に取り組みたいこと、チャレンジしたいこと」などについて話し合いました。また、お互いの報告を聞いて、そこから「いいと思ったこと」「持ち帰りたい、取り入れられそうなこと」について意見交換をしました。

参加者からは「(利用者の)つぶやきを拾っていくことが大事だと感じた」「国流のとりのくみの広さや多様さを知った」「違う視点からの意見を聞くことができてよかった」などの声がありました。一方で「時間が限られていたため、話し合いを深化させることは難しかった」といった課題も挙げられ、次年度以降はさらに充実した形を試行していきたいと考えています。

今後も事業の担い手であるボランティア、参加者、スタッフとの意見交流の場を積極的につくりつつ、みなさんと共に多文化共生のまちづくりを進めていく場をつくっていききたいと考えています。(協会職員・山本愛)

※協会事業の振り返りの4つの視点…「居場所」「エンパワメント」「ボトムアップの組織づくり」「双方向性」



ふりかえり会のようす

2018年2月号に最終回を迎えた連載「なんじゃ・カンジャ・言わせてもらえば」の執筆者、皇甫康子さんのコラムです。

皇甫さんの想いとメッセージがイモヂョモ（あれこれ）詰まったコラムをどうぞ。

短大に入学したとき、大学の先輩から大阪市内の中学校で朝鮮文化研究会の指導をしないかと誘われた。「外国人登録証」の授業をするので、準備の学習会をすることになり、先輩に紹介されたのが、東大法共闘編の「告発・入管体制」（1971年）だった。日本の侵略戦争、植民地支配の結果、戦後もたくさんの在日朝鮮人が日本に残留したが、その処遇はひどいものだった。

そうか、日本の最高峰の知識を集め考えられたのが「入管法」で、いつ強制送還されるか分からない不安定な状況に私たちを追いやっていったのか。外国人登録証の14歳からの常時携帯や、紛失、更新遅延の時にはまるで犯罪者扱い。息の詰まる日常の中で、「国籍条項」の壁がたちはだかり、健康保険に入れなかったり、進学や就職から排除されたりと、さんざんな思いをさせられてきた。もう我慢できないと声を上げた「在日」の先輩や仲間、後輩たちのお陰でかなりの改正を勝ち取ったが、常に道を阻まれ「在日特権」を訴え、「在日」を痛めつける集団まで現れた。制度が変わり、外国人登録証から在留カードへと変わっても、退去強制はそのまま残っており、相変わらずの差別や排除を受け、基本的人権ですら脅かされる私たちにどんな特権があるのか。植民地支配の補償のないまま、自力で生きてきた「在日」に対して、「何も権利を付与しないで死んでいくのを待つ」「差別をして劣等感を持たせ日本に同化させる」などの政府の政策は効を奏し、多くの「在日」が通称名（日本名）で生活し、国籍を保持している「在日」も少数になっている。

たくさんのお話を聴くことで生きてきた「在日」にとって、指紋押捺拒否運動とはどんな運動だったのか、『指紋押捺拒否・反外登法の闘いとはなんだったのか 40年後のいま、運動を振り返る』シンポジウムが11月30日、同志社大学で開催され、参加することができた。

反対するだけでは変革は無理なので、法を破っての抵抗運動を考えたという勇気。自治体の職員に告発しないよう働きかけ、味方につけるという作戦で、国に反旗を翻し、外国籍住民を守る職員に変容させていく熱意。関西では、「外登証世界の旅」で、外国人登録証を展示し、その非道さを訴えるというユニークな活動もあった。

激しい闘いの末、指紋押捺制度は2000年4月1日に廃止された。知恵を絞り、政府に立ち向かった当事者たちの勝利だった。シンポジウムの最後に、「『在日』は炭鉱のカナリアだ。日本社会がどのような社会なのか、「在日」への処遇をみれば理解できる」という訴えに共感し、他の外国籍住民と共に、資格ではなく永住する権利を獲得しなければと気持ちを新たにした。

「在日」の闘いの歴史を振り返るたびに、難民や移住者への処遇など、現在に通じる問題を考える糸口になる。連続する勇気ある行動が、私たちに生きる力を与えてくれるのだ。

【おしらせ】 外国にルーツを持つ子どものための活動紹介

当センターでは、外国にルーツを持つ子どものための活動を複数開催しています。

「外国にルーツを持つ子ども」といっても、国籍や言語、家庭背景は様々です。それらを「外国にルーツを持つ子ども」というひとことで括ることは難しく、それぞれの子どもの背景を理解し、母語や母文化を大切にする活動の必要性が高まっています。

当センターでは、外国にルーツを持つ乳幼児から高齢者までライフステージに沿った切れ目ない支援を目指し、未就学児が参加できる「多文化子ども保育にこにこ（木曜13:30～15:00・金曜10:30～12:00）」、小学生から高校生までが対象の「こども母語（中国語、スペイン語）（第2・4日曜10:00～11:30）」、「学習支援サンプレイス（第1を除く日曜13:00～15:00）」を開催しています。

豊中市においては、現在市内のすべての小学校で外国にルーツを持つ子どもの在籍数も増えています。学校や家庭に限らず、子どもが自分のルーツに向き合い、大切にできる活動から、子どもたちが安心して生きていける社会づくりを目指しています。活動の参加者も随時募集しています。みなさんのお近くに外国にルーツを持つご家庭のお子さんがいたら、ぜひご紹介ください！（協会職員・三木幸美）

2025 3月の事業開催カレンダー

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
24	25	26	27	28	01 たまりば 相談 外国人のための 消防署見学&防災講座 10:30~12:00	02 貸室抽選会 がちゃ 庄内 バレーボール交流会@豊島体育館 10:00~16:00
03 もっ と 相談	04 おやこ 相談 こんぱす	05 休館日	06 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	07 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	08 相談	09 がちゃ 母語 サンプル 庄内
10 もっ と 相談	11 おやこ 相談 こんぱす	12 休館日	13 千里 木ひる にこにこ 相談 つながれ	14 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	15 つどい 相談	16 がちゃ サンプル 庄内
17 もっ と 相談	18 相談 こんぱす	19 休館日	20 春分の日 世界とつながる交流カフェ ~チエコ編~@庄内コラボセンター 14:00~16:00	21 金あさ にこにこ 相談 こんぱす	22 相談	23 がちゃ 母語 サンプル 庄内
24 もっ と 相談	25 相談 外国人のためのお弁当作り 10:00~13:00	26 休館日	27 千里 木ひる にこにこ 相談	28 金あさ にこにこ 相談	29 相談	30 サンプル
31 もっ と 相談						

◆赤色で表記している活動については、活動内容を変更している場合があります。詳細については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日	もっ と もっ と つかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日	おやこ(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 つながれ とよなか オンライン!	13:30~15:00 13:30~15:00 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日	韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい ※基本、毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 若者のたまりば※第1土曜日のみ	9:30~11:30 11:00~16:00 13:30~16:00
日曜日	にちようがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプルイス 庄内にほんご(庄内コラボセンターで実施)	10:00~11:45 10:00~11:30 13:00~15:00 13:00~15:00

来月のピックアップ

豊中市内の外国人について

2024年12月末、豊中市に暮らす外国人の数は7,725人で、1年前の2024年1月と比べると約600人も増加しています。

全体のおよそ9割がアジア圏出身の人たちで上位10か国は順に①中国、②韓国・朝鮮、③ベトナム、④フィリピン、⑤インドネシア、⑥ネパール、⑦ミャンマー、⑧米国、⑨台湾 ⑩インドとなります。その半数以上が豊中で長く暮らしていく人たちですが、働くために来日する人も増えています。みなさんのご近所にも、知らないだけできっと外国人の隣人が暮らしているはずです。

とよなか国際交流センターおしらせ 「こくりゅうだより」第191号(2025年3月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会
住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間:9:00~21:30(水曜休館)
TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375
E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!
「とよなか国際交流センター」で検索!

